

## 親の愛が子どもの心を育てる

子育ての目的は何でしょう？ 子どもの心を育てることと考えましょう。子育てを知らないで、未熟な親が子育てをすると、子どもの体や心に悪い影響を与えます。

親が子育てでイライラし、不愉快な原因はすべて子どもにあると思ひ、子どもにすらく当たると、子どもは素直に伸びなくなります。

近年特に、目や耳をふさぎたくなるような子どもに対する虐待事件が報じられることが多くなりました。虐待を受けた子どもは、脳にも大きな影響を受けてしまうことがわかってきています。虐待によって、本来、発達が著しい子どもの脳に対して大きなダメージが残るのです。『虐待が脳を変える——脳科学者からのメッセージ』（友田明美・藤澤玲子著／新曜社）によると、厳しい体罰や暴言によって、脳の前頭葉にある前頭前野と呼ばれている、思考や判断にかかわるところが縮小してしまったり、聴

覚野が変形してしまったりすることがわかっています。また、親の暴力などを見聞きした子どもは、視覚野が縮小してしまうともいわれています。

さらに、小さな子どもの頃から虐待を受けて育ってしまうと、子ども自身が外の世界のことをあまり知らないため、虐待を受けていることを当たり前だと思ってしまう。親からいくらひどい扱いを受けても、それが普通ではないということに気づかないこともあるほどです。親への愛があるために、つらいという気持ちを抑え込んで、自分が悪いのだいつも思ってしまうのです。また、親自身が虐待を受けて育ったために、自分の子どもにも同じように虐待をしてしまうというケースも少なくないようです。

初めての子育ては、親御さんも子どもと同年齢です。子どもが1歳になれば、親も親年齢が1歳です。そして、育児は育自ともいわれます。親自身も子どもと一緒に育っていくものなのです。子どもだけでなく、親子関係、ご家庭での生活や親子の環境にも向き合い、子どもがよりよい環境で能力を開花できるようにしてあげるのは、親ができる最高のプレゼントの一つでしょう。